

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成29年～平成33年度(5年間)																
事業実施地区名 (都道府県名)	(じんづうがわ) 神通川森林計画区 (富山県)	事業実施主体	中部森林管理局 富山森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、神通川森林計画区の富山市を含む3市3町に所在する95,176haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、富山県を東西に分ける呉羽丘陵の東側に位置し、森林の現況はブナ、ナラ等の天然林が多く、人工林1.7%、天然林52.5%、その他高山帯などが45.8%となっている。主な人工林の樹種は、スギ87%、その他13%であり、スギが大半を占めている。</p> <p>本地域は、ほぼ全域が保安林及び自然公園に指定されており、「日本の屋根」といわれる北アルプスをはじめ、急峻な山岳地帯が多く、中部山岳国立公園、朝日県立自然公園、有峰県立自然公園など優れた自然の維持を必要とするとともに自然景観を背景としたレクリエーションの森など、森林浴や登山等保健休養の場としても広く国民に利用されるなど観光資源としての特性も兼ね備えている。さらに、水源の涵養や国土保全等の公益的機能の発揮のために重要な役割を担っている地域である。このことから、山地災害による人命・施設の被害防備や自然環境の保全、風致景観の維持及び保健休養の場の提供などの公益的機能を高度に発揮させることが求められている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、健全な森林を育成しつつ、公益的機能の維持増進を図ることを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">4ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">226ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">1.8km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">5.3km</td> </tr> </table> <p>総事業費 181,497 千円</p>			主な事業内容	森林整備	更新面積	4ha			保育面積	226ha		路網整備	開設延長	1.8km			改良延長	5.3km
主な事業内容	森林整備	更新面積	4ha																
		保育面積	226ha																
	路網整備	開設延長	1.8km																
		改良延長	5.3km																
費用対効果分析	総便益(B)	744,158	千円																
	総費用(C)	191,696	千円																
	分析結果(B/C)	3.88																	
中部森林管理局事業評価技術検討会の意見																			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 国土の保全や水源の涵養及び地球温暖化防止対策などの公益的機能の維持増進並びに木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 事業計画は、保育等の森林整備を通じ、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものであり、路網の整備についても森林整備と連携したものとなっている。加えて、木材の安定供給を行うなど山村の活性化にも資するものとなっていることから、有効な事業であると認められる。 																		

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林整備
 施行箇所：神通川森林計画区

都道府県名：富山
 (単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	194,427	
	流域貯水便益	43,619	
	水質浄化便益	92,907	
山地保全便益	土砂流出防止便益	123,792	
環境保全便益	炭素固定便益	27,986	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	36,135	
	木材生産確保・増進便益	115,953	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	59,158	
維持管理費縮減便益		50,181	
総 便 益 (B)		744,158	
総 費 用 (C)		191,696	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{744,158}{191,696} = 3.88$		